

## 会議録

会議の名称	令和7年度第1回茨木市特別職報酬等審議会
開催日時	令和7年10月6日(月) 午後2時30分 開会 午後4時 閉会
開催場所	市役所本館6階 第1会議室
議長	北村会長
出席者	北村会長、望月副会長、生駒委員、野口委員、大江委員、山下委員、佐名川委員、篠原委員【8人】
欠席者	なし
市	福岡市長、秋元副市長、足立副市長
事務局職員	下薗総務部長、東人事課長、中山人事課長代理、松村人事課主幹兼給与厚生係長、松原人事課主査、今村人事課職員【6人】
開催形態	公開
議題 (案件)	市議会議員の議員報酬の額及び政務活動費の額並びに市長及び副市長の給料の額について

議事の経過	
発言者	議題(案件)・発言内容・決定事項
	<p>[開会]  [各委員紹介]  [茨木市特別職報酬等審議会規則の概要説明]  [会長、副会長選出(北村会長、望月副会長)]  [市議会議員の議員報酬の額及び政務活動費の額並びに市長及び副市長の給料の額について質問]</p>
北村会長	<p>[会議の公開・非公開の決定]  それでは、ただいまから審議に入りたいと存じます。  まず、審議会の運営に関し、本審議会及び会議録を公開にするのか、非公開にするのかを、皆さんにお諮りしたいと思います。  事務局から審議会の公開についての説明を求めます。</p>
事務局	<p>それでは、事務局から審議会の公開等についてご説明申し上げます。  本市では、「茨木市審議会等の会議の公開に関する指針」に基づきまして、審議会等の会議は、個人に関する情報を審議する場合などを除き、公開を原則として、審議会等に諮った上で決定することとしております。  また、審議に関してご配付いたしました資料につきましても、審議会等の同意を得て、傍聴人に閲覧させることができることとしております。  なお、会議録につきましても、全部筆記とし、発言者の個人名も含めて公開させていただきたいと考えておりますので、よろしくお願ひ申し上げます。</p>
北村会長	<p>ただ今、事務局から会議の公開についての説明がありました。今後、非公開とすべき案件が発生したときには、皆様にお諮りし、会議の非公開を決定することとして、それまでは、原則に則り会議は公開といたします。会議録につきましても公開することとしたいと思いますが、ご異議ございませんか。</p> <p>《 異議なし 》</p>
北村会長	<p>それでは、本審議会を原則公開といたします。  事務局に確認しますが、傍聴者はいらっしゃいますか。</p>
事務局	本日、傍聴者はおりません。
北村会長	それでは、議事を始めたいと思います。

## 議事の経過

発言者	議題(案件)・発言内容・決定事項
	<p>審議に先立ち、頂戴しております関係資料について事務局より説明をお願いします。</p> <p>事務局 [資料説明]</p>
北村会長	<p>ありがとうございます。本日は、まず初めに、皆さんに、基本的な資料やデータの確認をしていただき、それを基に、次回から本格的な審議をしていきたいと思います。今、事務局からご説明いただいたことを、簡単にまとめますと、市長、副市長の給料額ですが、給料は本給で、それに手当等を加えると給与になります。</p> <p>給料額の方ですが、平成30年4月に約7%の減額改定がなされ、直近では、独自の減額措置として、令和2年6月から令和3年3月までの間、20%の減額措置がとられていたということでございます。条例に書かれている数字とは違うんだと、数字が低い時期があったということです。独自の減額措置は、我々が決めるのではなく、政治の世界で決めていただくことで、我々は、条例の本則のところを決めるということを確認しておきたいと思います。</p> <p>現在は、茨木市長は、98万3千円、大阪府内で14位、副市長85万8千円で府内9位となっております。次に市議会議員の方々ですが、報酬額は、平成23年4月に減額改定されて、直近では、減額措置として、令和2年6月から令和3年1月末までの間、20%の減額、令和3年4月から11月末までの間、5%の減額措置がなされておりました。現在は、議長が75万8千円で府内3位、副議長が70万8千円で府内3位、議員が66万4千円で府内2位となっております。こうやって数字だけ見るとすごく大きい金額に見えると思います。本題は次回から入っていきたいと思いますが、給料の額を検討するにあたっては、仕事量、税収、その他様々な観点があるかと思います。これが本当に見合っているのかどうか、議論の重要なポイントになってくると思います。政務活動費につきましては、平成30年10月より、4万円から2万5千円に減額改定されており、府内では28位となっています。</p> <p>なお、令和3年度に当審議会が開催されましたが、新型コロナウイルス感染症による財政への影響が不透明であることや状況に応じて自主的な減額措置を行っていること等から、当時の額が妥当なものであるとして据え置きになったということでした。当時もいろんなご意見がございました。前回、私、委員で入っておりましたし、他にも委員で入っておられた方もおられます。物価の問題であったり、茨木市は失政がないですね、というような、いろんな議論がありました。そのあたりも、皆さんと</p>

## 議事の経過

発言者	議題(案件)・発言内容・決定事項
	<p>議論を進めていきたいと思います。今、いろんな数字が出てきていますが、特別職の報酬等の額及び政務活動費の額が現在の額で良いのかどうか、妥当なのかどうか、というのを、これから議論していく、そういう意味では非常に難しい作業だと思います。これを今から、我々で進めていくということになります。ここまでよろしいでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">〔異議なし〕</p> <p>事務局に確認いたしますが、会議の回数は、おおよそどのくらいを考えておられますでしょうか。</p>
事務局	<p>本日を含めまして、全部で4回開催させていただけたらと考えております。</p>
北村会長	<p>ありがとうございます。ということで、本日を含めて全4回の会議で市長に答申書を提出することになります。そこで、各回の会議での内容としては、回数が限られておりますので、次のように進めさせていただきたいと考えております。まず今回、先ほど説明のあった資料について、ご質問等あろうかと思います。テクニカルなことがたくさんあり、財政力指数とか、経常収支比率とか、政務活動費とか、色んな事があるかと思います。そういうところもご質問いただければと思います。</p> <p>次回、第2回目の会議では、皆さんからのご意見を実際にお聞きしたいというふうに考えております。第3回目の会議にかけて、議論を交わしたいと思っております。</p> <p>そして、皆さんからお聞きしたご意見をもとに、答申書の案を作成させていただき、第4回目の会議で審議をしたいと考えております。以上のような進め方で、よろしいでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">〔異議なし〕</p>
北村会長	<p>ありがとうございます。では、このような予定で進めさせていただきます。必要に応じて何かあれば皆さんと一緒に考えたいと思っております。</p> <p>では、第1回目となる本日ですが、先ほどご説明のあった点についてのご意見、ご質問等があれば、皆さんからお聞きしたいと思いますがいかがでしょうか。</p>
篠原委員	資料のp10の府内各市の給料、報酬等調べについて、本則で見ていく

## 議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	<p>ということでしたが、現実は減額をしている市が非常に多くて、それも半端な数ではなく、だいたい20～30%くらい減額をされている市が多いんですが、一つ確認したいのは、これは市長の選挙に関連して、任期中の減額措置ということなのかお聞かせいただきたいと思います。本則の額でみると、市長の給料は14番目で、ちょうど真ん中くらいということで、人口規模からすると、単純計算ですが、もうちょっと上げてもいいのではないかと。それにしましても、これだけ減額している市が多いのは何か理由があるのか、お聞かせいただけたらと思います。</p>
事務局	<p>時限措置で減額しているものは、大体が選挙の公約で減額をされているところが多いと認識しております。あと、財政健全化のためにというところも2、3市ございます。</p>
篠原委員	<p>財政が厳しくて減額しているところもあると。</p>
事務局	<p>そのとおりです。一部の政党では、減額を公約に出すという動きがあるということも認識しております。</p>
北村会長	<p>テレビ報道によれば、府内のある市では、減額を行わなかったから公認を取り消すとかないとか。そういうことがあるくらい、ある特定の政党では、身を切る改革を掲げてやっておられると。それが良いとか悪いとかいうことではなくて、そういうふうにされているところもあります。我々は条例上の本則を議論するわけですが、そこから先の話は政治の世界で決めていただく、ということかと思います。我々は、あくまでもこの人口規模や政策の状況等、さまざま勘案して決めていくという形になるかと思います。</p>
篠原委員	<p>令和5年度の決算の中で、投資的経費が他市と比べて順位が高いとのことでした。投資的経費は社会資本の整備に使われることですが、特に市として何かに力を入れているためにあがっているのか、お聞かせいただきたい。</p>
事務局	<p>最近で申し上げますと、おにくるの整備の関係はあるとは思います。財政部局ですともう少し詳しいお答えができるのですが、総じて、茨木市の場合、経常経費を出来るだけ抑えて、という余裕が比較的ある方かと思っており、その分投資的経費に回すことができるという認識でございます。</p>

## 議事の経過

発言者	議題(案件)・発言内容・決定事項
北村会長	先ほど財政力指数というのが、どれくらいお金持ちかという指標だと、簡単に言うとそのように考えていただければいいのかなと思います。経常収支比率は、自由に使えるお金がどの程度余力があるかということです。どちらも上位にあるということは、茨木市の財政は非常に上手くいっていると思います。
北村会長	その他、いかがでしょうか。お気づきの点でも結構です。
野口委員	特別職の方は、賃金は固定なんでしょうか。物価上昇に応じて賃金が上がるということはありますか。
事務局	給料は固定の金額になります。一般職の公務員の場合は、国の人事院勧告に基づいて、給料や手当の額が変わることがあります。なお、特別職に関しては、期末手当や地域手当の部分は、市の一般職の職員の変動にあわせて、期末手当の支給率等を変えたりしていますが、それ以外には、例えば、物価に応じて額が変動するというような仕組みはございません。
北村会長	それらを踏まえ、そのような考えをどのようにして答申として盛り込むのかは、前回も同様の議論はございました。しかし、コロナでどうなるかわからないという不透明な状態でしたので、足踏みをしてしまったという状況でした。昨今の物価上昇を考えて、今、どのように考えるか。前回も意見がありましたが、辛い思いをしている市民の方もおられるのだからという観点もあります。一方では、扱い手がいなくなるのではないか、という意見もありました。前回も出た議論ですが、次回から、いっぱい出てくると思います。
野口委員	市長の立場であれば、市民のイベントとか結構あると思うのですが、そういうものに多く出席されていると思うが、出席した場合の手当はあるのでしょうか。
事務局	それはございません。なお、多くの休日も含めてほぼ何らかの行事なりにご出席されているような状況です。
北村会長	そういったことも踏まえて考えるということです。

## 議事の経過

発言者	議題(案件)・発言内容・決定事項
野口委員	それも含めての金額なのかが気になりました。かなり公務として、プライベートの時間が削られていると思います。
北村会長	ですので、金額というのは、それらを踏まえてどう反映させるのかを我々は考えていいかないといけないということです。給料の額について、金額だけを見れば多いと感じる方もおられるかもしれません、単純にそういうものではないということです。
望月副会長	政務活動費が平成30年に大きく減額されていますが、これは、何か工夫をされて、この金額でまかなえるになったのか、やることを削減したからまかなえるようになったのか、どういう理由で減額となったのか教えてもらえたたらと思います。
北村会長	茨木市のことではないですが、政務活動費を使って、ある県議会議員が、カラ出張に行ったとか、日本中で議論が出ていたと思いますが、それが影響しているのでしょうか。
事務局	平成29年の時の減額は、直近の執行率が7割程度だったということと、市長、副市長の給料の減額との均衡を図ること等から、減額するのが適当という判断があったものと認識しております。
篠原委員	当時、私は議員をしておりましたが、カラ出張のような問題があつて、茨木市においても、住民監査を求められ、その結果、本市は、適正には行われていましたが、細かく監査を受けたということがございました。そういったこともしっかりと受け止めながら、議会が独自で議会改革を進めて行こうということもあって、自ら減額を進めていったという側面もございます。
北村会長	ご承知のとおり、議員の方々も活動にあたっていろんなことを勉強されたいと思います。これをどう考えるのかということです。例えば、ある市で議員の勉強会があり、交通費の節約のために、車1台で乗り合わせて行ったということがありました。事故が起きた際のリスクというものが問題にもなりました。そういうことも考えないといけないと思います。本市はどのように考えるのか、皆さんのお見をお伺いしたいと思います。現状維持か、減らすのか増やすのか。配るのも一律で配るのか、それとも、研究者の研究費のように、プロジェクトの企画書みたいなものを出してもらって、それに対して交付するというような仕組み等も研究され

## 議事の経過

発言者	議題(案件)・発言内容・決定事項
	<p>ております。使わない人は使わないかもしれません、使う人はもっと勉強していきたいという方もおられるかもしれません。これをどう考えていくのか、というのをここで皆様方とご議論していかなければと思います。</p> <p>前回の審議会で、市議会の議員はどのような働き方をしているのですかという話で、人によって活動量は異なるという話もあったと思います。なお、そのようなデータが必要であれば、持ち合わせておりますので、必要であれば、お答えさせていただければと思います。</p> <p>また、皆様方から次回までにこういう資料を検討するにあたって見たいとか調べていただきたいというようなリクエストがございましたらお伺いしたいのですが、いかがでしょうか。生駒委員いかがですか。</p>
生駒委員	いまのところ大丈夫です。
望月副会長	そもそも報酬を議論していくときのポイントっていうのは、この資料にあがっているものが一つのポイントだとは思うのですが、それ以外のポイントはありますでしょうか。世間一般的なことでもいいのですが。
北村会長	私の考えにはなりますが、議論の観点として、財政の話は重要だと思います。また、市民感情についてはちょっと政治の世界にお任せする部分がありますので、ここでどこまで議論するのかは難しい面があります。また、仕事量であるとか、例えば、会社だったら、成功したらインセンティブ的なものが当然あってしかるべきということもあります。ですので、そのあたりのことも考えていかないと行けないと想っています。本当に、この市をマネジメントできてますか、ということを見るための資料が必要であれば、リクエストしてもらえたらいいかもしれません。
望月副会長	我々は、会社で査定をしていますが、どういう実績を残したか、目標に対してどこまで到達したかを厳しく厳しく問われております。できれば、そういう観点もし可能であれば、議論しやすいのかなと。先ほど、休みの日も仕事をされているという話もお伺いしたので、そういう観点もあればわかりやすいかなと思いました。
北村会長	経営者の役員の方であれば、株主への価値をあげて配当を行うというのが重要だということがあります。市の場合、もちろん公約に対してというのは、政治の世界での判断ですが、例えば、財政力指数や収支が赤字になっていないかどうか、しっかり投資的経費も使っているかどうかなど、また、先ほどの観点も重要なと思います。あとは、人口とか、高

## 議事の経過

発言者	議題(案件)・発言内容・決定事項
望月副会長	<p>高齢化をどこまで食い止められているか、近隣からどこまで人口流入があったのか、会社で言えば、規模が大きくなり、生産性があがっているのか等、そういうことを考えていただくのは、実際、今日のデータでも一部出ています。また、財政力指数、経常収支比率とか、あとは、人口の話は過去数年くらいで、生産年齢人口はどうかとか、高齢化率はどうかとか、うまくやっているのかを見るときに重要な指標になるのかなと思います。</p> <p>ここで出していただいた指標の内訳的なものをしてもらえたらいつも思いました。</p>
事務局	そうしましたら、人口の関係や高齢化率などの資料を。
北村会長	<p>よく見るのは、社会的なデータであれば、人口ですね。経済人口であれば、域内総生産、たとえば、出荷額がどこまであがっているのか。ここは農業地ではないのですが、農業製品の出荷額がどこまであがっているのか。財政であれば、経常収支比率や職員をしっかり採用できているか等、市町村レベルであれば、そういった側面で評価しているところも多いかと思います。</p>
事務局	そのあたり、整理させていただいて、ご用意させていただきます。
北村会長	<p>委員のみなさんが知りたいと思われるものを挙げてみたのですが、総務省が取っているデータもあるので、そのあたりご用意いただければと思います。</p>
山下委員	<p>市民の幸福度がどこまであるのか、市長や議員さんの仕事によって、住みやすくなったり、といったものを過年度での比較で、市民満足度の調査の結果がもしあれば、見せていただきたいと思います。</p>
北村会長	市民満足度みたいな調査結果はありますか。
事務局	総合計画策定時のアンケートがあるかもしれないで、確認させていただきます。できれば用意させていただけたらと思います。
北村会長	ありがとうございます。次回までにということではないですが、議員の話は出てくると思いますので、前回の資料、議員さんがどういうことをしているのか、前回もご用意いただいたように、普段どのようなことをされ

## 議事の経過

発言者	議題(案件)・発言内容・決定事項
	ているのか、簡単で結構ですので、前回出していただいたものを時点更新して出していただくのが良いのではないかと思います。市長は我々もイメージしやすいんですが、議員さんはいつも毎回、どうしようという議論になることが多いので、資料をご用意いただけたらと思います。
事務局 北村会長	わかりました。  その他ございませんでしょうか。ないということでしたら、事務局の方から第2回目の会議日程について、説明をお願いいたします。  [第2回目の会議の日程説明] [閉会]